

暗い部屋を當てるなどは、子供の衛生を無視した仕方です。次には新鮮な空気を呼吸させる事が大切です。不潔な空気がかり呼吸しておると、遂には呼吸器を傷ふ事になります。それには矢張り室内にばかり

## 我が園の武者祭り

り入つて居てはいけない、新鮮な戸外に出してやらねばなりません。是等の點は家庭のみならず、幼稚園や小學校などでは一層注意せねばならぬ事柄であります。

### 東京市四谷第一幼稚園

五月四日午後一時より本園の武者祭をいたしました。昨日から降りつゝいた雨は、今日も未だ晴れません。お庭に立てられた幟竿には、鯉も吹流しも付られませんが、幼児の登園にも困ることゝ朝から空のみながめて晴を祈つてをりましたが、どうも少しも止らずに降り通しました。しかし幼児は此雨にも元氣よく續々登園、思ひの外の出席多數でございました。朝の會集がすみましてから、自由に遊び十一時ごろお辨當にいたしました。零時半からそろそろお支度をして、一同遊戯室にはいりました。こゝは今日の餘興場でございます。室の三方に紅白の鯨幕を張り、正面には舞臺ができて、天井には各國國旗

が飾られ、常に見る室とは別に見へました。園長先生が之から武者祭の餘興をみなさんでしていただきませうと仰せられました。一同おとなしく待つて居ます。やがて松の組(年長兒)の良三とさぞうさんの御挨拶、にこゝととしていかにも嬉し相でした。次に梅の組(年少兒)の男兒三人鳩はつぽの唱歌、之は本年の新入園兒で、しかも小さいのに聲も大きく上手に出来ました。次は砂遊びの遊戯、(松の女)聲がちいさかつたので折角可愛らしい歌が、よく聴とれませんでした。次は牛若丸と辨慶の動作遊戯で、秀夫さんの牛若丸が白い被衣をかぶつた立姿の可愛らしさ、武者人形から抜け出て來たかのやうでした。薫さんの

辨慶は能く太つて、體格も立派で、彼人物も斯やと思はれました。初は薙刀を持つて「京の五條の橋の上」と勢よく歌ひ出しましたが、だん／＼力が抜て弱そうなる辨慶になりましたが、終りにあやまるのですからまづよいとしておきませう。次には可愛らしい梅の男女四人でポートをこぐ、正夫さん（五歳）が小さい口をあいて之からポートをござますとはつきりよく云ひました。みなよく揃つてピアノの音に合せて無邪氣に手を動かす有さま、實にかはゆらしくお人形のやうでした。良三さんの舌切雀のお爺さんは齒が抜てゐてにこやかで其人らしく、花ちゃん福ちゃん光ちゃん雀さんも可愛らしくよく出来ました。お爺さんが歸る時にお腰をまげるのを忘れて姿勢正しく杖をステッキのやうにして急いだのも滑稽でした。義行さんの獨唱「桃太郎さん」は上出来、薰さんの金太郎さん、兎と熊の満之亮さん進弘さんのお角方も大出来でした。唱歌「笹舟」これは松の男女四人にて一番は男に、二番は女に、三番は合唱にしました。之も能く歌ひました。梅の悦三さんは小さいのに自分から獨りで歌ふと云ひ出したゞけに、「桃の中からひよつくり」とあの長い歌を少しもまちが

はず思ひ出してはごろ／＼にもみぢのやうな手をあげて動作をする、其可愛らしい様子にお客様方も感心していらつしやいました。おしまひの御挨拶は薰さんです。元氣よく舞臺に上り口上をちよと云ひちがひましたが、すぐ云ひなほして少しもおくせずおちついて居ましたので、實に嬉しく思ひました。園長先生が之で皆さんの餘興はすみました。之から後藤先生の面白いお噺を静かにして伺ひませうと仰せになりました、お噺好の幼児はおとなしくきいてをります。「五うろつき」と云ふおもしろいお噺でしたが、「働らいて出た汗が小判に成る」といふ、幼児には意味が理解されなかつたことゝ思ひます。

併お噺が進むと共に繪が變化するので、今度は何に成るであらうかと楽しみに興味を以てかなり長いお噺を喜んでききました。お噺がすみましてから、一同お菓子を頂きました、園長様も後藤先生も一所に召し上つて下さいました。おみやげにはお細工の花菖蒲をいたゞいて、みな／＼大悦びでそれ／＼家に歸りました。百名餘の幼児がめい／＼あの小さい口からお母様になんと報告をするであらうと思へば、微笑を禁じられませぬ。今日は雨天にもかゝらず、後藤先生も御遠方お出で下さいましたし、園長様も御用多の中を幼児のためにお出で下され、又當園第二幼稚園の先生方、幼児のお母様方も多數御出で下さいまして誠に賑かな武者祭でございました。